

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:R4年2月12日

事業所名:おひさまSun

保護者等数(児童数)25

回収数12

割合 48%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1	1	もう少し広い方がいいです。	・さんSunルームやおひさまSunでの室内遊びの際は、必要に応じてくすの子保育園の園庭も使うようにしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1			・10:2に対して、お子さんに合わせてプラスで1~2人配置するようにしています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2	1	・駐車場の区切るロープがいつも良く見えてない為、車を停めづらい。	・ご意見ありがとうございます。 ・駐車場に白線を引く等の対応をさせていただいております。また、お気づきの点がありましたらお知らせください。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10	2			・話し合いを中心とした、ソーシャルスキルや自信へ繋げることを大事にしています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	2			・話し合い活動を中心としていますが、普段なかなか体験できない自然に触れる活動を取り入れています。
保護者への説明等	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	8	3	・コロナ禍の為難しい。 ・コロナの影響で制限が多かった。 ・コロナ禍で今はなかなかできない為、落ち着いたらできると嬉しい。	・今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、外部での活動やあいご会との交流ができませんでしたが、公園で地域の子どもと一緒に遊ぶ機会はありました。今後も状況を見ながら検討していくたいと思います。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1			・負担金等につきましては、領収書をお渡しています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるか	10	2		・細かいところまで見ていただけてありがとうございます。自宅での支援の参考にしています。	・活動終了時間の15分前に振り返りの時間を設けています。今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として全体ではなく個別で行いました。 ・年に1回小学校連絡会を行い、情報交換をして保護者の方へお伝えするようにしています。今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策の為連絡会が中止となりましたが、必要に応じて電話等で連携を取り、保護者の方へお伝えしています。 ・個別支援計画を通して共通理解できるように心掛けています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1			・保護者の方と色々なお話ができるように心掛けています。いつでもお話ください。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	6	1	・コロナ禍の為難しい。 ・コロナの影響で制限が多かった。 ・感染が落ち着いてきたら、懇談会を開いて情報交換をして欲しい。	・父母の会は設立していませんが、懇談会等を通して保護同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として延期となりました。2月に実施予定ですが、今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施検討をしていきたいと思います。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1			・活動前に打ち合わせ、活動終了後に振り返りの時間を設け、共通認識のもと支援が行えるようにしてしています。より良い支援に繋がるように情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1			・送り迎えを保護者の方々に行つてもらい、情報等を直接やり取りできるように心掛けています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1			・お便り等の配布やホームページへの投稿、メールを使っての配信も行っています。

	⑭ 個人情報に十分注意しているか	12			・契約の際に説明を行い、ビデオやホームページ等への掲載がある際は随時確認を行なうようにしています。 ・秘密保持義務において、守秘義務を徹底するように職員へ周知しています。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	2		・掲示を行い、周知しています。また緊急時の対応として連絡表に緊急連絡先を3ヶ所書いていただき、連絡ができる状況を確保しています。緊急時のメール活用も想定しています。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4		・毎月事業所全体での避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児対象の避難訓練は年に1回行っています。今年度はメールを使用しての避難訓練を行いました。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	11	1		・子ども達が「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	11	1	・普段から面談していただいたり、子どもに合わせて対応していただいていると感謝しています。 ・ご意見ありがとうございました。	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行なっていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:R4年2月12日

事業所名:おひさまSun

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			学年や利用人数に応じてグループを分けて活動しています。人数によって狭く感じることもある為、園庭やお散歩活動等取り入れながら活動しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			職員配置が10:2となっていますが、追加で1名~2名となるように子どもに合わせて対応しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			室外・室内に段差がある等すべての方へのバリアフリー化はできていませんが、心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に業務改善について会議で話し合いをしています。必要に応じて掲示や朝礼で伝えて職員の共通理解に努めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			懇談会を実施し日々の振り返りを通して保護者の意向を把握し、迅速な対応や改善に努めています。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、今年度は懇談会の実施を延期しました。今年度中に懇談会を開催する予定ですが、状況を見て開催できるように検討していきます。
業務改善	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開し、振り返り等で保護者へお伝えできるようにしています。また、分離室等に掲示いつでも見ることができるようになっています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者委員会での評価や多機関連携勉強会にて意見を頂き、改善に努めています。
業務改善	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各職員が公開療育や研修に参加しています。また、月に1回会議にて勉強会を行い、多機関連携勉強会や専門療法士との振り返りで職員の資質向上に努めています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通してニーズに基づく計画作成を行っています。外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。必要に応じて感覚プロファイルを実施をして評価しています。	
業務改善	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。必要に応じて感覚プロファイルを実施をして評価しています。	今後SDQを実施検討中です。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			体制職員と打ち合わせを行い、子ども達の主体性を尊重した上で活動プログラムの立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の話し合いを中心に活動を行っています。1日の活動を通して様々な活動が経験できるようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			通常日や長期休暇等に応じて、子どもの状況に合わせながら設定します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、長期休みの平日は利用人数の制限を掛けさせていただきました。ご協力ありがとうございました。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を設定した後に個別の設定等子ども達の状況に合わせながら行うようにしています。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員で打ち合わせを行い、確認することや子どもの関わり方について支援が統一できるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを行いながら次に繋げることができるようになっています。また、保護者からの話も記録に残し情報共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別の日誌や全体日誌を通して記録を残し、話し合ったことの次の支援方法も記入するように心がけています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			振り返りの際に話をさせて頂いています。	新型コロナウイルス感染症予防対策として全体での振り返りではなく個別での振り返りをさせていただいている。各職員が専門性を持って保護者の方に振り返りができるように今後も共通理解や資質向上をしていきたいと思います。利用がなく、定期的にモニタリングができるないケースも見受けられる為、改善していきたいです。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			様々な活動を組み合わせています。反省を活かし、職員会議や研修等で支援を工夫するようにしています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○				
関係機関との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者を介して話を聞き、対応と一緒に考えたり、連絡会にて情報共有をしたりしています。	今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策として小学校連絡会が中止となりました。必要に応じて電話での連絡会や幼保小連絡会にて話を伺う等しました。来年度は状況をみて実施できるようにしたいと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				今年度は対象児がいませんでした。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			連絡会等を行い、相談支援事業所と連携を取りながら相互理解に努めています。	